

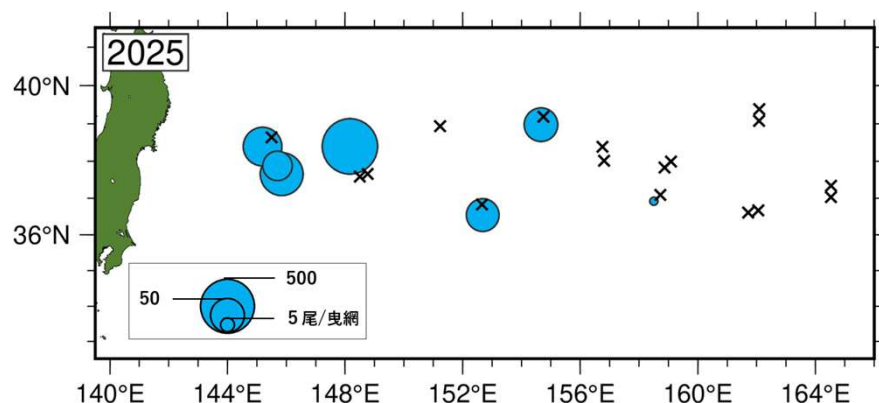
スルメイカ冬季発生系群 時期ごとに利用可能な情報について



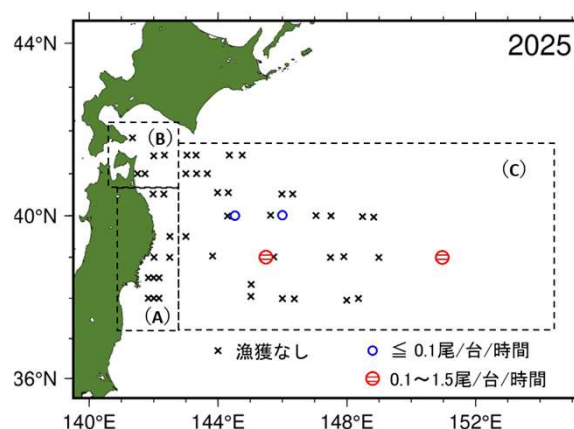
漁期中調査：冬季発生系群（いか釣り・トロール調査）



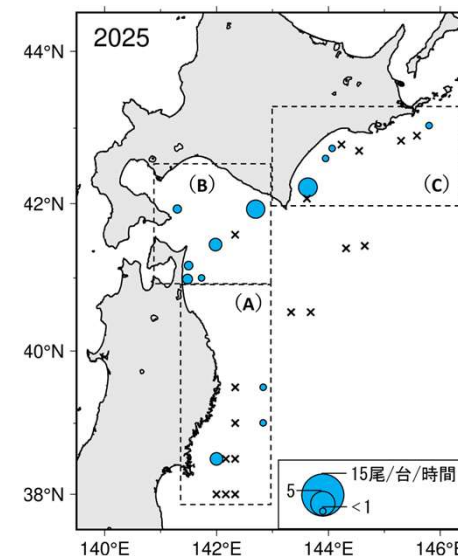
表層トロール調査（5～6月）
（主に10cm未満対象）



いか釣り調査（6～7月）
（主に10～18cm対象）



いか釣り調査（8～9月）
（主に15cm以上対象）

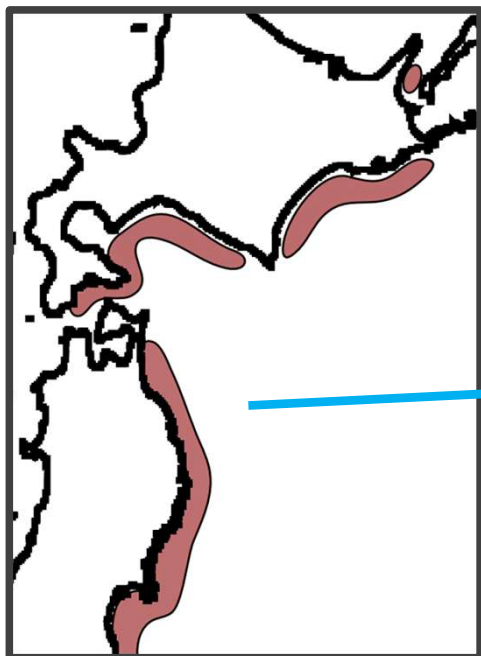


利用可能なデータ・特徴

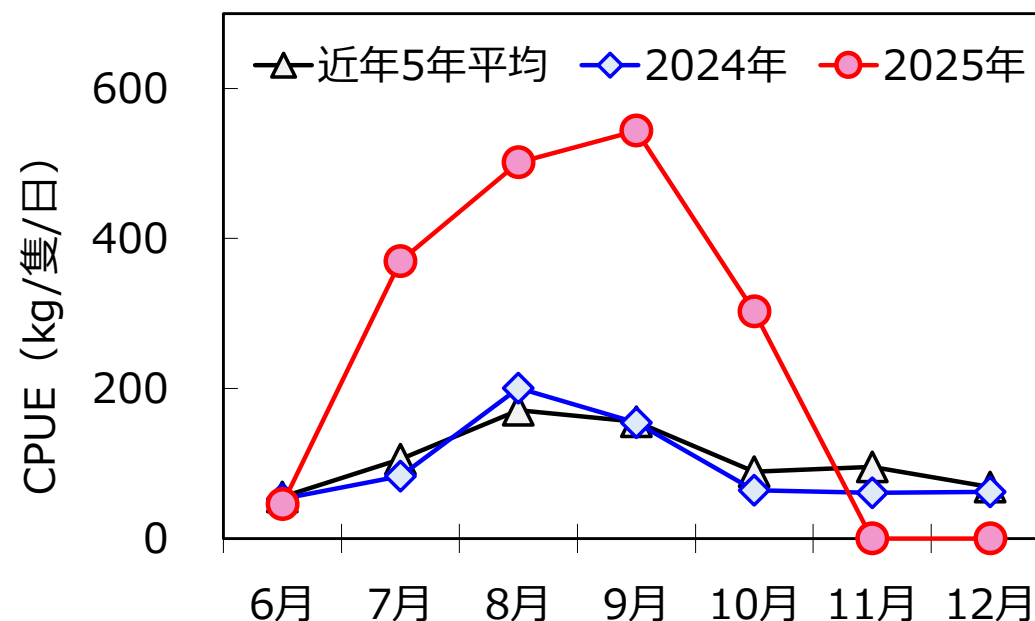
- 5～6月 表層トロール調査： 漁獲加入前の沖合域の分布状況を把握
- 6～7月 いか釣り調査： 漁期前の沖合域・沿岸域の分布・来遊状況を把握
- 8～9月 いか釣り調査： 漁期初めの漁場への来遊状況を把握
- 6月 底層トロール調査： 漁期前の三陸の沿岸域への来遊状況を把握

漁業データ：冬季発生系群（小型いか釣りCPUE）

太平洋側沿岸域の主漁場



小型いか釣りCPUEの月別推移



利用可能なデータ

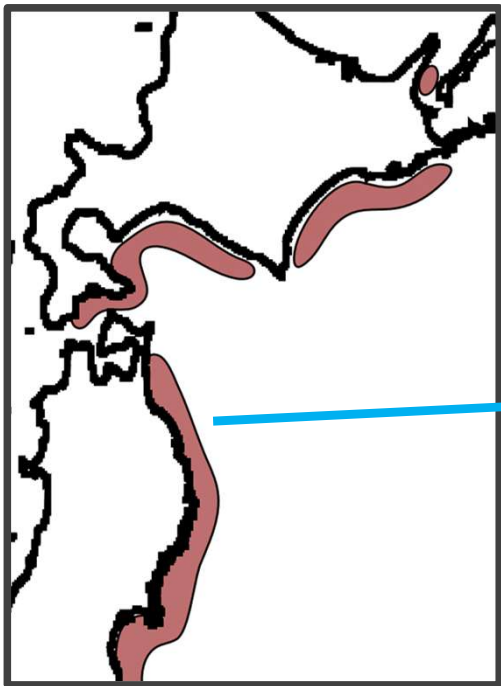
- 小型いか釣りCPUE（努力量は隻日数）：
9月上中旬に7～8月分、10月上中旬に9月分が利用可能

特徴

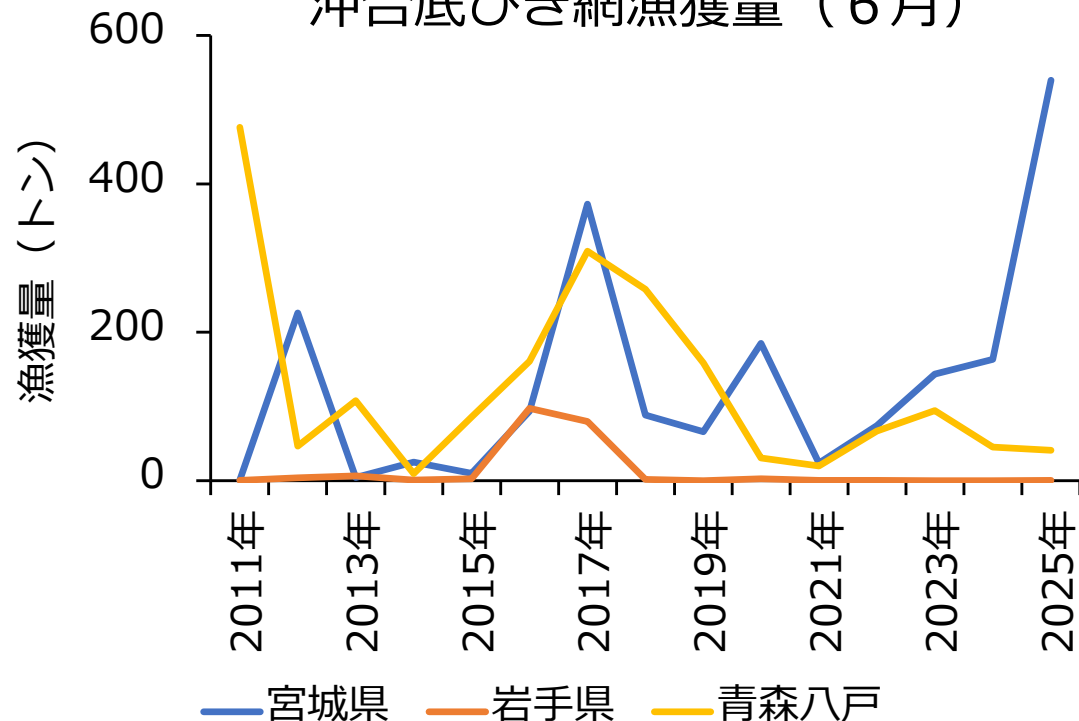
- 道東、根室、オホーツクは漁期の開始が8月以降
- 漁獲のピークは8～9月、その後減少

漁業データ：冬季発生系群（沖合底びき網CPUE）

太平洋側沿岸域の主漁場



東北太平洋の
沖合底びき網漁獲量（6月）



利用可能なデータ

- 東北太平洋の沖合底びき網CPUE：
7月以降に6月分、10月以降に9月分が利用可能（7～8月は休漁）

特徴

- 漁績データの早期入手が必要。東北太平洋の漁獲情報に限定される
- 6月は抑制的な漁獲を行っている他、日本海側から来遊してきた秋季発生系群も漁獲される

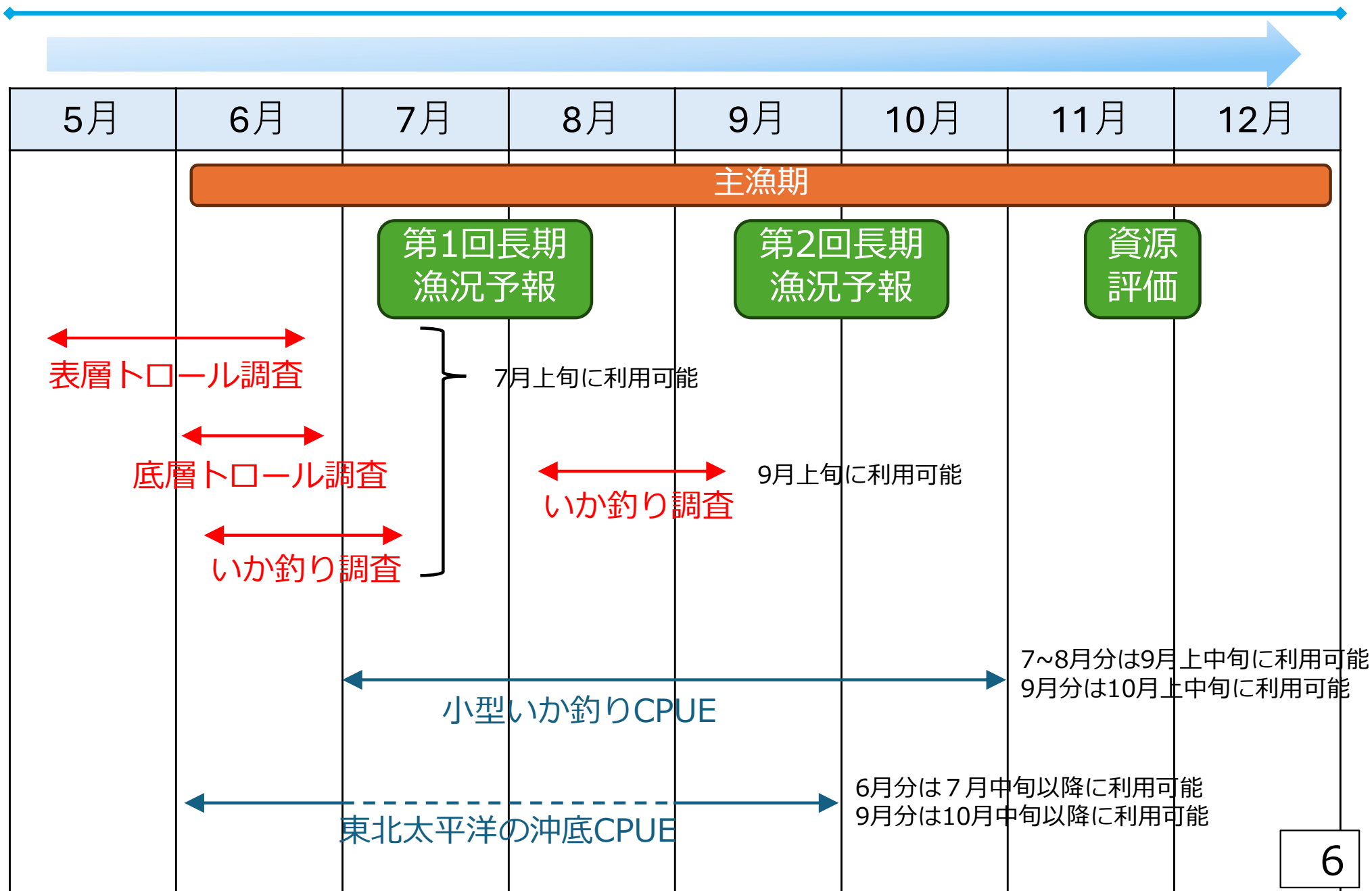
漁期中に利用可能な情報一覧（冬季発生系群）



データ	データ取得時期	利用可能時期	備考	R7漁期中の 検討で使用
調査データ				
表層トロール調査	5～6月	7月上旬	・ 沖合域中心の情報	
底層トロール調査	6月	7月上旬	・ 沿岸域の情報	
いか釣り調査	6～7月	7月上旬	・ 沖合域中心の情報	
	8～9月	9月上旬		
漁業データ				
小型いか釣り CPUE	7～8月	9月上中旬	・ 沿岸域の情報 ・ 主要水揚げ地の漁獲 情報の早期収集必須	○
	7～9月	10月上中旬		
東北太平洋の 沖底CPUE	6月	翌月中旬以降を 想定	・ 沿岸域の情報 ・ 7～8月は休漁 ・ 漁績の早期収集必須	
	6、9月			

- 上記は、利用可能な情報のリスト。
- 情報の利用可能性を検討後に活用。

データ収集のタイミング（冬季発生系群）



漁期中の資源量情報の更新（冬季発生系群）

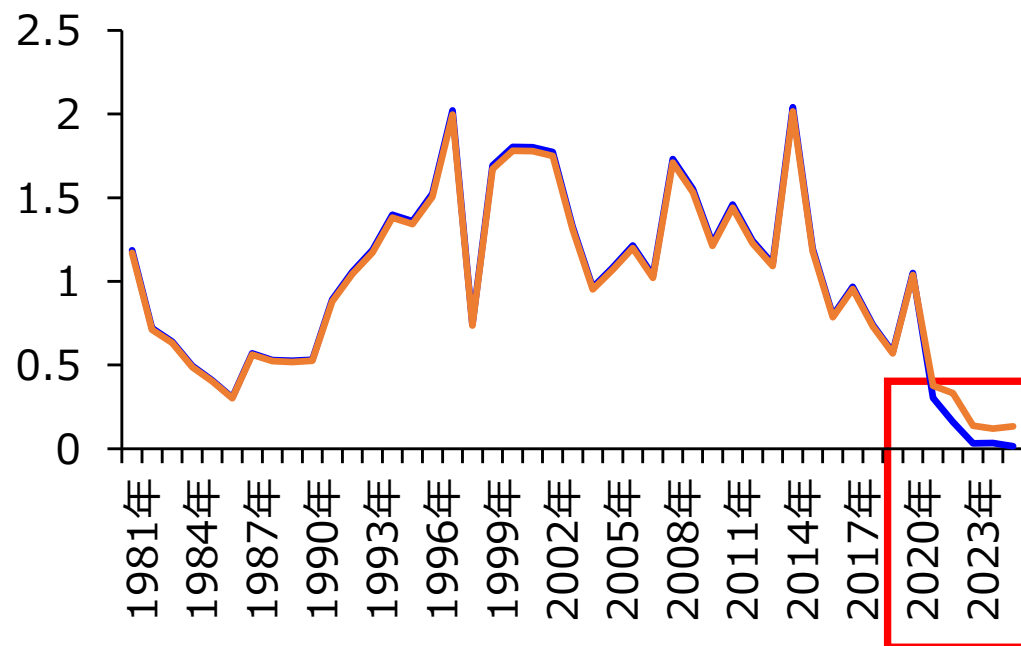
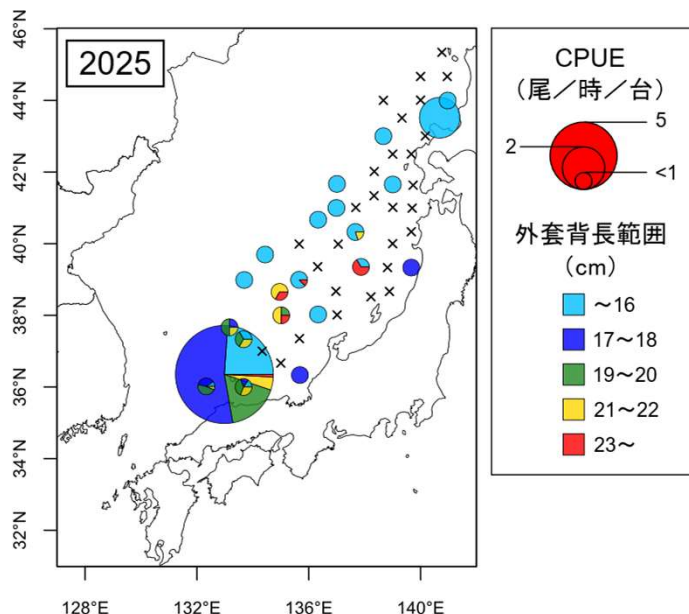


- 小型いか釣りCPUEを用いた情報更新
 - ・ 7月、7～8月、7～9月など、漁期の進行に応じて得られるCPUEを利用
 - ・ 得られた情報を用いて、資源量情報を更新
- 利用する情報の拡充
 - ・ 令和8年度資源評価では、小型いか釣りCPUEに加えて沖合底びき網CPUEの利用を検討
 - ・ 漁期中の情報更新への利用についても検討
- 調査結果などについても、漁況予報と合わせて情報提供

漁期中調査：秋季発生系群（いか釣り調査）

6～7月いか釣り調査
(主に15cm以上対象)

調査CPUEおよび資源量の経年変化
(平均が1となるよう相対化)



— 調査標準化CPUE — 資源量

利用可能なデータと時期

- 6～7月いか釣り調査：7月上旬

精度・制約

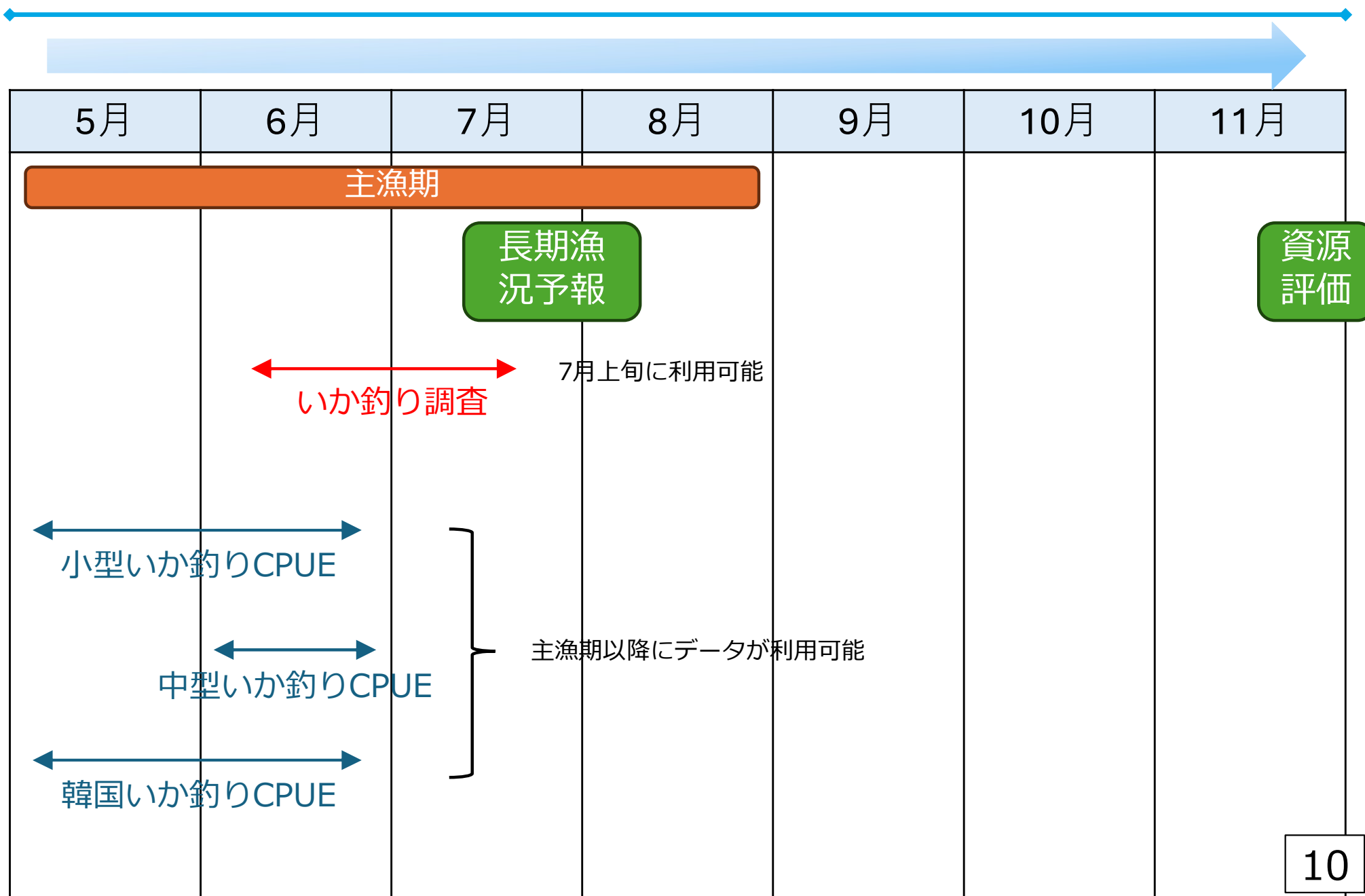
- 資源の分布が例年と大きく異なると大きな誤差が生じる
- 2021年以降は調査CPUEに加え漁業データも指標値として使用しているため、調査CPUEのみの予測では資源量との乖離が大きくなる可能性がある

漁期中に利用可能な情報一覧（秋季発生系群）



データ	データ取得時期	利用可能時期	備考
調査データ			
いか釣り調査	6～7月	7月上旬	- 沖合域の情報 - 資源の分布が大陸側や沿岸域に偏重した場合、資源豊度を正確に捉えられない
漁業データ			
小型いか釣りCPUE	5～6月	主漁期以降にデータが利用可能	- 沿岸域の情報 - 近年漁期の開始に遅れ
中型いか釣りCPUE	6月		- 漁績の早期収集が必須 - 近年では漁期前半の日本海での操業隻数が少ない
韓国いか釣りCPUE	5～6月		大陸側の情報

データ収集のタイミング（秋季発生系群）



漁期中の資源量情報の更新（秋季発生系群）



- 秋季発生系群は主漁期が8月末には終わるが、資源量が低い水準で推移しており、漁期中に各種情報を更新して提供する状況ではないと想定。
- 直近の調査結果は長期漁況予報にて提供。